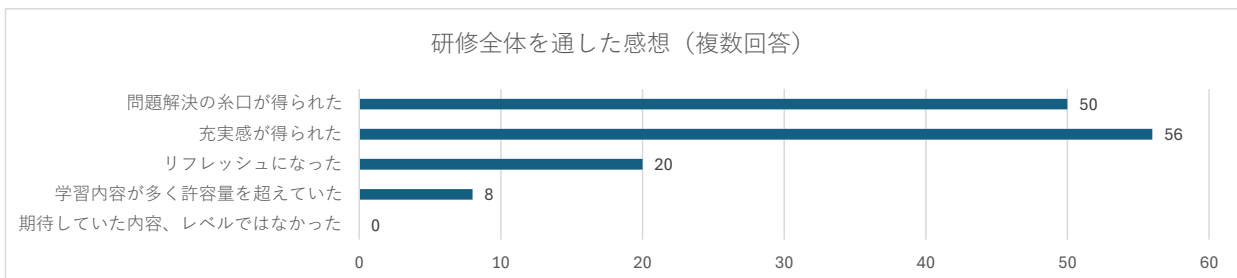
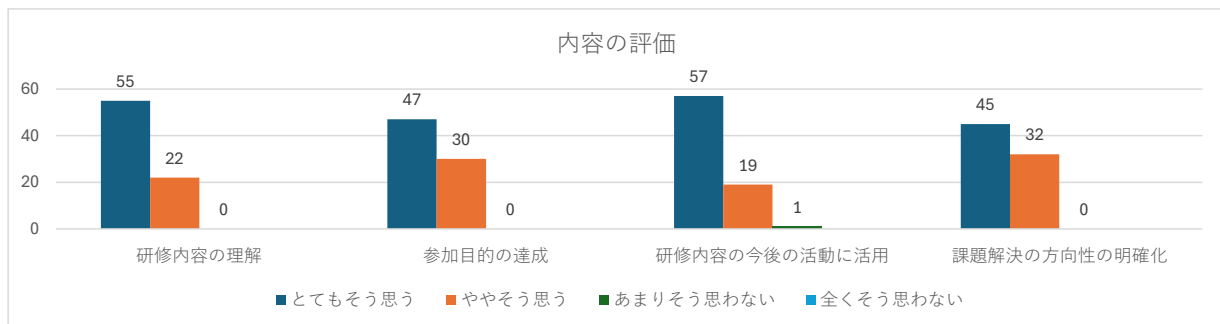
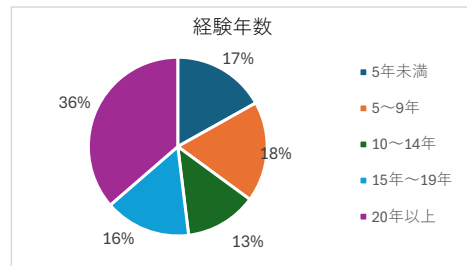
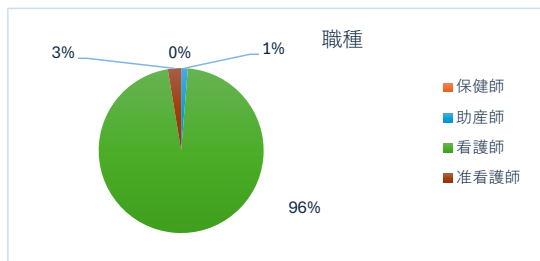


3 看護職員認知症対応力向上研修

研修名	令和6年度看護職員認知症対応力向上研修	
開催日時	令和6年9月8日(日)～10日(火)	時間:9:30～16:30
研修形態	集合研修	
受講者数	79名 (会員:54名 非会員:25名)	定員 60名
対象	指導的役割の看護職員(3日間連続で研修を受講できる者)	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の人の入院から退院までのプロセスに沿って、認知症の原因疾患の病態・特徴等の基礎知識を習得する ・認知症の人を理解し、より実践的な対応力(アセスメント、看護技術、チーム対応、院内外の連携等)を習得する ・病棟等における認知症ケア体制(院内・地域)の構築およびスタッフ育成・教育等の知識と技法を習得する 	
講師	渡川病院 院長 吉本 啓一郎 JA高知病院 認知症看護認定看護師 松高 ゆり 近森病院 認知症看護認定看護師 小松 有希 芸西病院 看護部長 老人看護専門看護師 田村 文佳 国立病院機構高知病院 認知症看護認定看護師 土居 可純(演習支援者) 近森病院 老人看護専門看護師 明神 拓也(演習支援者)	

1. アンケート結果

参加人数:79名 回答数:77名 回収率:97% n:77



2.ご意見・ご感想(一部抜粋)

- ・ 認知症を罹患している方が今後多くなるという現状であり、私たちにできる事は何なのか、また家族や身近で困った時は協力していきたいと思った。
- ・ 少し難しい所があり、完璧に理解したとは言えないが、今までは気にしてなかったこと・深く考えていなかったことで、そう言うことだったのかなと思うことがあったので、今後仕事の中でも気づいていけるようにしていきたいと思った。グループワークを通して他の病院の人の考え方や自分が今まで経験してこなかった科について知ることができてよかった。
- ・ 患者さんの安全のため…と言いながら自分の仕事量が増えないように身体拘束をしていたんじゃないかと思う時もあった。せん妄やBPSD出現前のサインに気付き早めに対処をする事で患者さまの不利益にならないようにしていきたいと思った。
- ・ 認知症看護について、具体的に学ぶことができた。自施設で伝達講習をしていき、看護の質の向上につとめようと思う。
- ・ 日頃自分の中で分かったつもりになってケアにあたっていたところがあったと、反省した点が沢山あり、色んなことに気付かされる研修となった。
- ・ 臨床で活かしつつも、また忘れてしまいそうな時やアップデートが必要かと思う。これからも参加させて頂きたいと思った。
- ・ 今後の認知症患者への関わり方を考えさせられるような講義だった。
- ・ あらためて認知症の基礎、対応力について学ぶことができ、今後の看護に活かしたいと思う。
- ・ 現場の忙しさを理由にできていなかったことも振り返り、反省しながら、業務に取り組んでいきたい。
- ・ とても有意義な研修になった。
- ・ 実際現場で、実際にしている看護等を振り返ることが出来今回の研修をいかしていきたい。
- ・ 今までの看護が自分たちのためになっていた部分もあったので今後は患者さんや家族にも寄り添った看護ができるよう努力したいと思える研修になった。
- ・ 今回研修がとても楽しく、企画準備していただきありがとうございます。吉本先生の講義も医師目線で面白かった。田村先生の講義もとても聞きやすく親しみやすい内容で、勉強不足でやや難しいところもあったが、グループワークは面白くおかげさまで非常に充実した時間を過ごせた。また研修あればチェックしたいと思う。
- ・ 今日自分が立てた研修企画を実施したいと思う。
- ・ 認知症の患者さんの対応に、個性や生活歴、その人の経験などを入院時の情報収集にいれて、コミュニケーションに生かしていけるのではないかと思った。
- ・ 疲れたけど、楽しかったです。もっと認知症看護を極めたい！
- ・ 自己決定を尊重する看護を実践していきたい。
- ・ 患者さんを決めつけから入らない。カンファレンスを通じて認知症患者さんについて話し合う機会をつくれればと思った。
- ・ 認知症やせん妄について理解することができ、どのように対応していけばいいのか知ることができた。日々の業務に活かしていきたい。
- ・ 認知症ケアについて学びを深めることができた。
- ・ 今後の病棟での、看護介護は勿論ですが、研修の立て方の助言を頂き感謝している。
- ・ 他病院の現状を知れて良かった。
- ・ 今回の研修を通して当院でも勉強会を行い、情報を共有していきたい。
- ・ すごく勉強になった。日程表にプログラムなどが欲しかった。

3.研修担当者コメント

高齢化社会の中、認知症患者との関わりは常に身近な問題で、参加者の興味や関心が非常に深く、自分達の経験を振り返りながら講義を聴くことができていたと感じた。演習では、積極的に意見交換や、他施設の方との情報共有を行うことができ、今後取り組むべき課題が明確にされていた。今回学んだことを、日々の認知症看護に活かし、スタッフへの育成・教育に携わっていくことで認知症看護の質の向上につながる事を期待したい。